

病院の概要

- 病床数 724床
- 医師数 (研修医を除く) 165名 (うち指導医数 76名)
- 研修医数 1年目 15名 2年目 15名
- 研修医の主な出身大学

旭川医科大学・札幌医科大学・弘前大学・秋田大学・山形大学・東北大学・福島県立医科大学・東京医科歯科大学・東京医科大学・日本医科大学・東京慈恵会医科大学・東邦大学・帝京大学・順天堂大学・杏林大学・日本大学・昭和大学・埼玉医科大学・獨協医科大学・聖マリアンナ医科大学・北里大学・東海大学・群馬大学・山梨大学・筑波大学・新潟大学・金沢大学・福井大学・浜松医科大学・名古屋市立大学・信州大学・近畿大学・滋賀医科大学・川崎医科大学・島根大学・徳島大学・産業医科大学・熊本大学・宮崎大学・鹿児島大学・漢陽大学・Shahid Beheshti University



- 診療科 内科 循環器内科 消化器内科 神経内科 糖尿病内科 腎臓内科 血液内科 呼吸器内科 感染症内科 腫瘍内科 緩和ケア内科 心療内科 小児科 産婦人科 外科 整形外科 脳神経外科 心臓血管外科 消化器外科 乳腺外科 呼吸器外科 気管食道外科 肛門外科 内視鏡外科 小児外科 泌尿器科 耳鼻いんこう科 頭頸部外科 眼科 形成外科 美容外科 皮膚科 麻酔科 救急科 放射線診断科 放射線治療科 病理診断科 臨床検査科 リハビリテーション科 歯科口腔外科

- 1日平均外来患者数 1450.4名
- 1日平均入院患者数 581.7名

- 主な認定施設 埼玉県がん診療指定病院、日本内科学会認定医教育病院、日本消化器病学会専門医制度認定施設、日本外科学会専門医制度修練施設、日本救急医学会救急科専門医指定施設、三学会構成心臓血管外科専門医施設認定、他

研修プログラムの特色

「たくましさ」を身につけるためのプログラムです。初期臨床研修は、その後に訪れる「厳しい」医師生活を生き抜くための準備段階であると私たちは考えています。敢えてきつい環境を創出し、研修医たちは鍛えられ自身の成長を実感しながら毎日を過ごしていきます。ひとりの医師として様々な場面で責任をもって診療に参加することが義務付けられているからです。救急外来ではファーストタッチを、総合診療科研修では主治医に匹敵する存在として患者さんに関わるすべてのマネジメントを、そして離島研修ではときに一人当直を任せられます。身につけた「たくましさ」は一生の財産となることでしょう。

のんびり、じっくり、ゆるやかに研修生活を過ごしたいという方にはマッチしないことをお断りしておきます。「教えてもらえる、やらせてもらえる」のではなく「自分で考え調べ行動する」ことが当たり前な環境です。自分自身のパフォーマンスを最大限に高めたい方には心から満足できる2年間となることを約束します。



プログラム 例 上尾中央総合病院臨床研修プログラム (募集定員19人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目▶	内科系7科(内科・消化器内科・循環器内科・神経内科・腎臓内科・腫瘍内科・総合診療科)から2科以上選択						救急部門			麻酔科		外科
2年目▶	外科	小児科	産婦人科	地域医療	選択期間							

必修：内科系6か月、救急科3か月、麻酔科2か月、外科2か月、小児科1か月、産婦人科1か月

選択：8か月 (内科、消化器内科、循環器内科、神経内科、腎臓内科、腫瘍内科、総合診療科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、産婦人科、耳鼻いんこう科、麻酔科、放射線診断科、臨床検査科、救急科、精神科、病理診断科、地域研修)

※地域研修は必修1か月、選択1か月まで (合計2か月選択可能)

※精神科研修は埼玉県立精神医療センターで実施する。

研修医の処遇

- 給与▶ 1年次：40万円/月 2年次：43万円/月
- 諸手当▶ 当直手当、日勤手当
- 保険▶ 健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険、厚生年金基金
- 勤務時間▶ 9時～17時30分
- 当直▶ あり (6回/月)
- 休暇▶ 有給休暇 (入職3か月後：3日 6か月後：7日 初年度：10日支給) その他 (特別休暇・年末年始・産前産後休業・育児休業・介護休業)
- 宿舎▶ あり：当院規定(5万円を上限として、家賃半分を支給する※上尾市内在住限定)
- その他▶ 処遇：常勤、健康診断：年2回、医師賠償責任保険：病院において加入・個人加入は任意、学会・研究会等への参加：可、参加費用支給有 医療費見舞金制度・24時間保育園・保養所 (軽井沢/那須/山中湖)・院内旅行・その他

主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・ 埼玉県立精神医療センター
- ・ 医療法人徳洲会 帯広徳洲会病院
- ・ 医療法人徳洲会 徳之島徳洲会病院
- ・ 特定医療法人沖繩徳洲会 宮古島徳洲会病院
- ・ 特定医療法人沖繩徳洲会 石垣島徳洲会病院
- ・ 気仙沼市立本吉病院
- ・ 社会医療法人緑壮会 金田病院
- ・ 土庄町国民健康保険病院 土庄中央病院
- ・ 医療法人 哲西会 哲西町診療所
- ・ 矢掛町国民健康保険病院 他

## 当院のキーワード

### 『自立』『責任』『信頼』

当院の初期臨床研修のキーワードです。医師としての基盤となる3つの資質を身につけ、伸ばすことを約束するプログラムです。

- 『自立』救急外来では年間約10,000台の救急車を研修医たちがファーストタッチで捌きます。指導医は裏方の役目に徹し、研修医がまさしく自分自身の力で診療する能力を養います。
- 『責任』総合診療科研修ではほぼ主治医に匹敵する仕事を任せられます。治療方針の決定やICも研修医の仕事です。甘えは許されません。
- 『信頼』地域医療研修では自ら外来枠をもちます。患者さんひとりひとりと密接な関係性を構築することが求められます。



◎「ほどほど」「そこそこ」という研修を求めています。「徹底的に」学んでください。サポートもしっかり行います。臨床研修管理委員会とは別に臨床研修指導者委員会を設置し、5～10年目の若手医師、看護師、コメディカルが研修医ひとりひとりに目を向けて研修の様子をいつも見守っています。

## 研修責任者から

3年後、専攻医研修を受けている自分を想像してください。

多くの研修医は大学病院に所属し、アルバイト生活を始めます。アルバイト先では当直業務を自分一人で行うこととなります。「指導医」はいません・・・



プログラム責任者  
黒沢 祥浩

当院の研修卒業生たちは、救急業務のどんな場面にあっても適切に診療していく能力を身につけています。「自信をもってやっています」「上尾での救急に比べたら患者数も重症度も大したことないです」と卒業生たちは口を揃えてこのように話しています。

当院に見学に来られる学生さんたちは「研修医の先生、カッコいいですね」と言ってくれます。そう評価されるための環境を準備して皆さんを待っています。

## 先輩研修医から

ここは年間10,000台もの救急車が来る病院です。4つある初療ベッドが満床でも次の救急患者のホットラインが鳴ると「いいよ、受け入れるよ」と言われる。新人研修医がフリーズしていると、「入院のオーダーお願いします」と追い打ちをかけるように看護師からの催促の一言。2年目の研修医が「入院のオーダーはこうやるんだよ。」と助け舟を出してくれた。1年目にとって先輩は・・・まさしく神。1年間の研修が神を創造した。そして、極限状態での記憶こそが次に同じ状況になった時の対応を助け、自分をたくましく育ててくれるのだと感じた。

私がなぜこの病院を研修先として選んだのか。答えは簡単。盲目的に上級医の指示だけを実施するのではなく、きちんと根拠に基づいて考え、プレゼンをすれば自分の考えを反映してくれる環境がここにはあります。上尾には伝えきれない魅力が他にも沢山あります。



研修医1年目  
長谷部 智久

## 女性医師支援コーナー

当院では、女性医師の働きやすい環境を整えるため、以下の規定があり、ひとりひとりの研修医にそれぞれの働きやすい環境を提供できるようにサポートします。

### —妊産婦への配慮—

#### 【妊娠中】

母体保護の観点から、妊婦中の研修医は原則として当直研修を行わない。ただし、本人より当直以外の時間外勤務の希望があれば臨床研修センター長 および救急総合診療科責任者

との面談・調整の上、土曜日の午後や日祝日の日中等に研修を行っても良いこととする。

#### 【育児中】

育児中の当直は研修医および児の状況を勘案し、臨床研修センター長および救急総合診療科責任者との面談・調整の上、当直研修実施の有無および回数 を決定することとする。

- ・短時間勤務制度
- ・院内保育の設置
- ・当直免除

連絡先

## 上尾中央総合病院

人事課 臨床研修事務係

〒362-8588 上尾市柏座1-10-10

TEL 048-773-1111(代表) FAX 048-772-2205

E-mail ishi\_jinji@ach.or.jp

URL http://www.ach.or.jp

アクセス JR高崎線 上尾駅西口より徒歩3分

## 病院見学、その他イベント・説明会等の情報

### 【見学】

ホームページ上の初期臨床研修、見学申し込みはフォームよりお申し込みください。

### 【平成29年度・初期臨床研修プログラム 説明会】

平成29年3月25日(土) 14:00~17:00(予定)

※医学生もご参加いただけますので 気軽にお問い合わせください。